

## 第 32 回支援連絡調整会議 議事録

日 時：2016 年 2 月 16 日(火) 10:00~12:00  
場 所：陸前高田市コミュニティホール 中会議室  
出席者：16 団体 24 名（オブザーバー2 団体 3 名を含む）  
進行：酒井（事務局）  
文責：佃（事務局）

### 1. 事務局連絡（10:00~10:05）

#### ➤ 支援連絡調整会議についてのアンケート結果報告

前回、通常のアンケートに加え調整会議について質問項目を設けた。その結果共有。（参加者 28 名中 20 名が回答）

- ・ 来年度以降の会議の必要性は？→100%が「はい」
- ・ いつ頃まで必要か？→状況に合わせて、震災後 8 年、仮設がなくなるまで、まちづくりがひと段落するまで等。人により様々だが、もう少し長い期間で必要だと感じている人が多かった。
- ・ 会議の参加メリットは？→主に情報共有・交換・収集。他は人脈づくりや他団体との連携のきっかけ等。
- ・ 会議の内容について→満足しているという声が多かった。
- ・ 開催頻度や開催時間について→さまざま。
- ・ 今後会議の設計に参加団体として関わりたいか？→「はい」の回答あったが、所属団体の業務を考えると中々難しい。

⇒いただいたご意見は、来年度以降の会議の設計や内容に反映していきたい。

また、今月のアンケートでも、プラットフォームの登録のあり方や会議のグループ設定についての質問項目を設けているので、率直な意見を記入いただきたい。

#### ➤ 陸前高田市議会議員と NPO の交流会開催報告

2 月 12 日（金）に、市内に拠点を置く NPO 団体と市議会議員の顔合わせの場として、まちづくりプラットフォームの主催で陸前高田市議会議員と NPO の交流会を開催。NPO17 団体、市議 11 名に参加いただき、それぞれの活動報告を行い、お互いの活動への理解を深める機会となった。

#### ➤ 2015 年度支援概況調査について

提出締切は 2 月 29 日（月）18:00 まで。ご協力よろしく申し上げます。

## 2. 活動報告（全体）（10：05～10：45）

・全参加団体より活動報告、および今後の活動や告知など。また3/11や前後に考えている/関わっている活動があれば共有。質問あれば適宜。各団体2～3分程度で報告。

※以下発表順、発表者敬称略に記載

※発表の順番は第32回支援連絡調整会議参加者名簿に準ずる。番号は名簿の番号を記載。

### ◆活動報告

1～2	大船渡地域振興センター／柁屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災者相談支援センター月間報告</li> <li>1月：相談員対応62件。内50件が、住宅再建や災害公営住宅への引越しの補助金等について。専門家相談は3件。</li> <li>陸前高田では高台2の引き渡し後、支援制度の問い合わせも多いが、いろいろな問題を抱えて相談に来る方が増加傾向。</li> <li>・「いわて復興住宅祭 in 大船渡」(2/6～7 リアスホール)</li> <li>来場者：474組809名（内、個別相談：34組46名）</li> <li>住宅ハウスメーカーなどがブース展示をし、具体的な住宅の設備や設計等の相談もできた。今回、ファイナンシャルプランナーへの相談7件と今年度で一番多かった。内容は、世帯分離する時の生活費に関することや、新しく住宅再建するか中古住宅を購入するか、再建するか公営住宅に入るか等。</li> <li>・2/21（日）に住宅再建相談会を開催予定。午前はコミュニティホール、午後は長部コミセンで開催。</li> <li>◇3/11：県と大船渡市合同で追悼式を行う。また、陸前高田市の追悼式にも県から参列予定。</li> </ul>
3～5	陸前高田市復興支援連絡会／志賀	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会報おはようさん No.8が完成（資料参照）</li> <li>・「はまかだ教室」大船渡保健所主催 こころの健康推進事業。</li> <li>1/26（火）滝の里仮設では15名、2/3（水）米崎中仮設では12名が参加。3/8（火）下矢作教員住宅跡地で開催予定。</li> <li>・「ハッピードールプロジェクト」(Arts for Hope 主催)</li> <li>端切れ等を使ってマスコットを作成する企画で、今年度は9ヶ所の仮設で開催。完成した作品は、1/27～31 リアスホールの「いまここで生きている」展に展示。</li> <li>・「健康料理教室・IHクッキングヒーターを使った減塩料理教室」を2/2（火）に滝の里仮設にて開催。主催の東北電力より公営住宅に移る方や住宅再建する方へ、電力やIHの使用方の説明があった。15名募集に20名参加し大盛況。</li> </ul>
6	ジャパン・プラットフォーム／高久	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「共に生きる」ファンドの状況報告</li> <li>2/9（火）に第24回の受付け終了。現在審査中。前回よりも</li> </ul>

		<p>申請数は若干多い。</p> <p>仮設住宅等で活動する方が災害公営住宅での活動を計画し申請するという傾向が前々から少しあったが、今回はそれらの団体が、自治会の育成や地域側の住民と新たに移転してくる方への交流等、明確なミッションをもった申請内容が多いという傾向が見られた。</p> <p>来年度は2回募集予定で、次回は5月に受付予定。</p>
7~8	陸前高田市教育委員会生涯学習課／田中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生涯学習のつどい」</li> </ul> <p>2/11（木）八重樫教育委員長を招き講演会を開催。 84名が参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜子ども教室「たかた子どもキャンパス」</li> </ul> <p>2/13（土）もっちいと森の仲間たちの協力で、小学生9名を連れて遠野市の赤羽根スキー場で雪遊びの体験活動を実施。今年度は2/27が最終日となる。来年度も体験活動等を企画 中。連携や協力いただけたところがあれば提案頂きたい。</p>
9	りくカフェ／齊藤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートクラブ（第4期）：残り2回</li> <li>・食育プロジェクト：残り2回ほど（体調不良による欠席もあるので、随時参加者募集中）。4月以降の「スマートクラブ」と「食育プロジェクト」は準備中</li> <li>・2/20（土）気仙茶を守る会による気仙茶のお振舞</li> <li>・2/29（月）18:00～サクソフォンのゆうべ</li> </ul>
10	岩手大学三陸復興推進機構／佐々木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月に開催する市民講座の案内（資料参照）</li> </ul> <p>参加のお願いと共に、興味のある方への周知もお願いします。</p>
11～12	陸前高田まちづくり協働センター／三浦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高田地区市民会議</li> </ul> <p>3/11に向けて、会議参加者の発案で、コミュニティホールの広場の芝生に花を飾るプロジェクトが始動。住民の協力のおかげである程度進んでいる。これから当日の作業に向けて、参加者の募集の告知等々行う予定。案内の協力をお願いします。</p>
13～14	もっちいと森の仲間たち／望月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2/3（水）下和野災害公営住宅の依頼を受けて、梅の木を2本植樹。（四国から来て仮植えしていたもの）</li> <li>・2/10（水）北海道の気功の会の方々が西風道仮設と下矢作旧診療所跡地仮設を訪れ、住民の身体のゆがみを直してもらった。延べ20名ほど参加。</li> <li>・2/13（土）生涯学習課のお手伝いで、赤羽根スキー場で子</li> </ul>

		<p>どもたちと雪遊び。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下和野災害公営住宅から、みんなで花見をしたいので桜が欲しいとの要望を受けて、本日桜の木を植える予定。</li> <li>・2/22～23 大沢温泉自炊部で、森前の花壇の方々と同窓会を実施予定。学生たちも参加し40名程が集まる。</li> </ul> <p>※陸前高田市の方で、日本ミツバチの飼育希望者がいたら連絡をください。</p> <p>◇3/11：毎年、二日市仮設を訪問し交流している。今年も訪問し、花をプレゼントし合掌する。</p>
15～16	遠野山・里・暮らしネットワーク／林	<p>・うまいもの交流会</p> <p>1/28（木）中田災害公営住宅で実施。入居者へ案内を出し、当日は47名が参加。仮設の時のつながりで情報が広がり集まった方もいた。参加者名簿はないが、今後参加者を把握するためにも工夫が必要（自治会役員も入居者の区別がつかない状態）。自治会に負担のかからない情報集めができないかと考えている。また、備品はストーブ2台、お湯も出ず滝の里仮設から机とイスを借りた（不足机はスーパーから拝借）。年度内にいろいろ購入できると聞いている。</p> <p>◇3/11に向けて：3/5（土）大阪で報告集会を実施予定。ならコープとよどがわ生協と合同企画。陸前高田からは、まるごとりくぜんたかた協議会の永田さん、桜ラインの岡本さんがパネルディスカッションで登壇予定。</p>
17	ハマトラ／篠原	<p>Jリーグの日程が発表になったので、今年の活動について話し合いを行った。高田に来るタイミング調整が難しく、岩手大学の学生の協力を得ながら進めていこうと考えている。</p>
18	教育支援チーム「まつ」／佐々木	<p>先生方と子どもたちの居場所の運営、不登校の子どもたちのフリースペースを行っている。</p> <p>毎月行う理事会で、ひとり親に関わる子どもの貧困が話題となり、どう関わっていくかが課題だと議論。中には、児童虐待がみられるという話もあった。震災から5年で一区切りとなるが、子どもの課題はたくさんある。</p>
19	パクト／桑久保	<p>子ども支援事業、復興サポートステーション事業、二又復興交流センターの運営事業を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二又復興交流センター</li> </ul> <p>「陸前高田思民ウエルカムバックツアー2016」の参加者の受け入れ窓口および宿泊先、また2日目に参加者と地元市民の</p>

		<p>交流昼食会の場として利用があった。</p> <p>その他、2015年11月から宿泊予約サイトに登録し、じゃらん・楽天トラベルで宿泊予約の販売を実施。パクトHP等からの予約は時間が経つとともに減少しているが、じゃらんや楽天トラベルでは支援ではないところからの問い合わせが増加傾向にある。</p>
20	いわて連携復興センター／葛尾	<p>・2/19（金）13:00～「寄付募金セミナー・認定NPO法人取得セミナー」が盛岡のアイーナで開催される。</p> <p>・復興庁の「心の復興事業」について</p> <p>現在募集中で、締切りが2/22（月）12:00必着。</p> <p>必要事項は、①生きがいつくりの効果②活動頻度③風化防止・地域活性化の波及効果④費用対効果⑤自治体・地域との連携。標準助成金額は、1つの事業について350万円。</p>
21	まるごとりくぜんたかた協議会／伊藤	<p>引き続き、研修や修学旅行の受け入れを行っている。</p> <p>YouTubeにまるごとりくぜんたかたのPVを掲載しているので、拡散の協力をお願いします。</p>
22～ 23	陸前高田市被災者支援室／武田	<p>・相談数月間報告</p> <p>窓口：148件、電話：18件</p> <p>行政書士会のなんでも相談会（2/13）対応は6件。相談者数も増え、今後も継続していく。</p> <p>寄付金16件、義援金21件。物資支援では、衣類や植物の種が届いているので、後でみなさんに相談したい。</p> <p>◇3/11：14:30～16:00 コミュニティホールで追悼式を行う。会場はシンガポールホールとホールの向かいに特設テントの第2会場を設置予定。参列はご遺族の方が優先で現在受付を行っている。一般献花は、10:00～12:00・16:00～18:00。</p>
24	「陸前高田被災地語り部」くぎこ屋／釘子	<p>東日本大震災を忘れてほしくない思いで語り部活動を行っている。</p> <p>昨年に引き続き2/15～3/31まで東京スター銀行（全国32支店）で東日本大震災の写真展実施。復興支援として、陸前高田・気仙沼・福島・南三陸町に100万人に来てもらおうと東京スター銀行が中心となってやっけていただいている。交流人口の増加や地元経済の活性につながるの、これからも被災地に来てもらうことを発信していきたい。</p> <p>※事務所が、かさ上げに伴い高台2のあがり口に移動した。来られる際は事前に連絡をいただきたい。</p>

		◇3/11: 3/8~13 まで一本松茶屋の交流室を使い写真展を行う。併せて、3/11~13 は講演会も行う。(資料参照)
--	--	---

### 3. 活動分野毎の討議・意見交換（グループ議論）

#### <1G 地域・コミュニティ>

##### ➤ 意見交換

- ・ 前回に引き続き、県営の栃ヶ沢災害公営住宅のコミュニティづくりについて  
「自治会は必要なのか？」が主な議論のテーマとなった。そもそも、住民にとって、そこで心地の良い暮らしができることや最低限の連絡手段があれば、それを無理に自治会という形でなくてもいいのでは？からスタートしたが、心地の良い暮らしや有事に助け合える体制、行政と住民の連絡伝達手段は必要なので、最終的には「自治会は必要」という話になった。

他に、栃ヶ沢災害公営住宅の自治会設立支援をどこがするのか不明な状態なので、もしこのまま支援がないのであれば NPO や支援団体には何ができるのかを議論。きっかけづくりやイベント・サロン等を通して入居者の方々の顔を知ってもらうきっかけづくり、キーパーソンを探すこともできる。ただ、阪神淡路大震災の事例から再三言われている通り、支援団体が入りすぎやりすぎはまずいところがあるので難しいという意見もあった。

#### <2G 子ども・教育／女性・子育て>

##### ➤ 意見交換

- ・ 前回の振り返り『団体と行政の連携』について  
「たかた子どもキャンパス」での官民連携（雪遊び体験）の共有。これをひとつの足掛かりとして、次年度も継続したい。  
→3 月の次年度の計画時点から団体と一緒に話ができたら良いが、3 月が難しければ、計画ができた段階で良いので持ってきてほしい。(行政より)
- ・ 前回に引き続き、高田高校の JRC（青少年赤十字）とのつながりについて  
JRC がどのような活動をしているのか聞いてみたい。事前に学校の先生方との関係をつくり、学生と団体の話し合いの場を持ちたい→打合せの日程調整を進める。

#### <第3回 ワーキンググループ>

##### ➤ 「高田の復興を振り返る資料作成について」

- ・ 前回までの確認、及び情報共有
  - ワーキンググループでつくるものが何なのかを確認
  - 見せる対象についての確認：素材のデータ等は以前に行われたマッピング調査等になるため、まずはプラットフォーム登録団体に発信するものにする。

- ・ 作成物を二次的に加工することについて  
企業研修や修学旅行でまちに来られる方に、まるごとりくぜんたかた協議会等を通して資料提供するような形で活用出来るのではないかと考えている。
- ・ 今後の流れ  
今年度内を目標に、素材の部分を年表化し素材集（振り返りが目で見えるもの）を作成したい。また、素材集は、使う方の目的に合わせて情報を抜き出す等カスタマイズできるものにまとめたいと考えている。
- ・ 本日の作業の進捗  
完成図の共有と情報の追加を行った。

**【次回の開催日程】**

- ・ 第33回 支援連絡調整会議  
3月15日（火）10：00～12：00 ※会場及び詳細は別途連絡